

法学委員会 法学研究者養成分科会 (第26期 第2回)  
議事要旨

1. 開催日時：2024年11月24日(日) 午後1時から3時20分
2. 開催場所：ZOOMによる会合
3. 出席者：飯島淳子、川嶋四郎、亀本洋、國分典子、只野雅人、田中教雄、豊崎七絵、中山竜一、野口貴公美、橋本祐子、林真貴子、藤本亮、丸谷浩介、本庄武、安田拓人、山田八千子  
欠席者：片山直也  
(敬称略)
4. 議題
  - (1) 今後の方針について  
今期の分科会の活動方針について議論を行った。議論の結果、2011年の提言後の状況の変化を把握して、検討を行っていき、シンポジウムを開催し、日本学術会議の「記録」として残す方針が確認された。
  - (2) 各大学での研究者養成の工夫について  
会員・連携会員が所属する大学における法学研究者養成の現状について報告があり、様々な工夫がなされているものの、必ずしも順調ではないことが確認された。また専攻分野ごとに状況に違いがあることが確認された。
  - (3) 学術会議を巡る動向  
川嶋委員長、亀本委員、只野委員、丸谷委員、山田委員から、政府及び学術会議の動向について報告があった。
  - (4) その他  
次回会合は2025年2月終わりから3月中に開催を予定する。  
平成23年の提言を読み、分析を行う。

以上

<配布資料>

1. 日本学術会議法学委員会法学系大学院分科会「提言・法学研究者養成の危機打開の方策－法学教育・研究の再構築を目指して－」（2011年）
2. 法学委員会法曹養成と学術体制分科会「法学研究者養成・法曹養成・法学教育のインテグリティのある協働に向けて－学位対試験の視角から－」（2023年）